

日本木材学会北海道支部 第 45 回研究発表会報告

北海道支部の第 45 回研究発表会は 2013 年 11 月 28 日（木）に旭川市大雪クリスタルホールで開催されました。参加者数はほぼ例年並みの 63 名で、木材学会副会長の船田 良 先生ご臨席の下、口頭 7 件、展示 10 件の計 17 件の研究発表があり、それぞれで活発な質疑応答がなされました。その後、青山政和 北見工大教授による企画講演「ヘミセルロースの発酵利用」が行われ、続いて「北の木材科学賞」の授与式が執り行われました。今年度は「タモギタケの子実体形成における LED 照射の影響」と題する講演（雲英真人ら 4 名；北大）が口頭発表部門から、「香気成分の定量的分析によるインドネシア産沈香の評価」と題する講演（石井貴史ら 6 名；北大）が展示発表部門から、それぞれ受賞しました。

来賓の船田先生には最後にご挨拶いただきました。なお、各発表内容に関する詳細情報は道支部ホームページにて公開しておりますので、ご関心の向きはご参照いただければ幸いです。

<http://www.agr.hokudai.ac.jp/wrsh/>

日本木材学会北海道支部 2013 年度庶務担当常任理事 幸田圭一（北大院農）